

# Medical Technology News

## 臨床検査室新聞

2019年 5月  
第82号  
発行元 八雲総合病院  
臨床検査室



### 朝起きてすぐの「何で？」

#### 「おしっこ検査」の話

春になりました。子供達の「また今年もあるのか」という声が聞こえてくるような、気もしますが春は学童検診の季節です。その中に尿検査があります。朝起きたらすぐに取ってくださいと言われたと思います。「何で朝起きてすぐなんだよ！めんどくせえ」という声も聞こえてくるような？気もしますが朝起きてすぐのおしっこがとっても大事なのです。



尿検査ではタンパク、潜血、糖などの検査を行っています。その中のタンパクは主に腎臓の働きを調べる検査です。尿中にタンパクが出てきているということは腎臓が正常に機能していない可能性があります。しかし、子供のころは安静にしている時には出ないが起きて体を動かすと尿中にタンパクが出てきやすい（起立性タンパク尿・病気ではなく治療を必要とせずにほとんどの場合成長とともになくなる）ことがあります。この起立性タンパク尿の影響が少ない「安静にしている時のおしっこ」が「朝起きてすぐのおしっこ」なのです。よってこの尿中にタンパクが見られると腎臓に異常がある可

## LOOK

### 新しい検査技師の紹介

- ①出身地②検査担当③趣味・特技
- ④好きな言葉⑤好きなタイプ

今年3月に卒業したばかりです  
**櫛田 さやかさん**



- ①伊達市
  - ②血液、輸血
  - ③ピアノ・柔道
  - ④人生一度きり
  - ⑤沖田総司（新撰組一番隊の隊長）
- 皆様のお力になれるように努力して参りますので、宜しくお願いします。

臨床検査歴？年のベテランです  
**村山 正文さん**

- ①夕張市 ②細胞診、一般検査
- ③読書、音楽鑑賞（クラシックを聴いても眠くなりません）
- ④努力した者が成功するとは限らない。しかし、成功する者は皆努力している。（ベートーベンの名言）
- ⑤努力する人

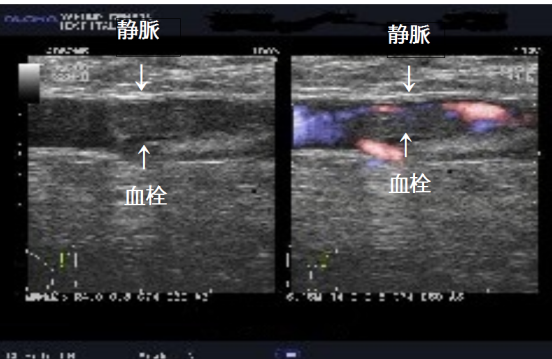
大きな災害が多かった平成ですが、いろいろな国の多くの方に支えられました。新時代を迎え、少しでも人のために何か尽くすことが出来たら、定年までの2年間、年を重ねる喜びも増すことでしょう。



## 超音波検査による 下肢腫脹の原因検索

下肢の腫脹で行なわれる超音波検査の主な目的は深部静脈血栓（左下の写真）による閉塞の有無で、他にも下肢腫脹の原因があります。

他の原因で超音波検査が有効なものとして膝関節液が貯留するベールカシ腫瘍や筋肉内の血腫、骨盤腔内の悪性リンパ腫や癌などの腫瘍による静脈の圧排、浸潤などがあります。



左大腿静脈の血栓（超音波画像）

## ほと time

春のかぶもおいしい!!  
白い部分の根は淡色野菜で、消化酵素のアミラーゼ、やビタミンCが含まれ、葉は緑黄色野菜で、ビタミンやβカロチンやカルシウム、鉄、さらに食物繊維も含まれ栄養たっぷりです。漬物はもちろんトトロに煮てもおいしいですね。



## 検査の基本

### 下肢静脈超音波検査とは

下肢静脈超音波検査とは、超音波を用いて静脈に血栓がないか見る検査です。  
血栓は新鮮なうちは超音波で黒く映り静脈内にあっても分かりづらいので、プローブで圧迫して静脈が潰れないとかカフドブラで血流に色をつけて色の欠如の有無などで確認しています。



また、他にも超音波検査だけでは分かりませんが、全身性に浮腫をきたす心不全、腎不全、肝不全や局所的に浮腫をきたす炎症、リンパ浮腫などが原因となります。



## 編集後記

4月の終わりにはたくさんの方の「平成最後の○○」が、5月になると今度はたくさんの方の「令和最初の○○」が、みなさんすぐに使いたがってちよつと飽きるくらいですね。まさに簡単に流されないようにしっかりと発言したいものです。

あつ！そつだ言い忘れてました！これが「令和最初の臨床検査室新聞」です。よろしくお祈りします。すぐに使いたがる